

情 報 公 開 文 書

研究の名称	父親の労働時間と精神的苦痛の関係（エコチル調査）
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人富山大学
研究責任者	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座・教授 稲寺 秀邦
研究の概要	【研究対象者】 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）に参加した父親 【研究の目的・意義】 私たちはこれまでに、父親の労働時間が長いと出生児に対する育児行動が減ることや、父親の育児行動が少ないと母親の精神的苦痛が高いという関連を明らかにしてきました。また、父親の育児行動が子どもの精神神経発達とも関連することも明らかになってきております。これらのことから育児期間中の父親の労働時間は家族の健康とも関連すると考えられますが、今回は父親の労働時間が父親自身の精神的苦痛とも関連するのではと考え、子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）のデータを用いた研究を行います。 【研究の方法】 エコチル調査に既に登録された対象者について検討します。エコチル調査では、妊娠中から産後1か月の期間に、調査に参加する女性（以下、母親と表記）のパートナー男性（以下、父親と表記）に対し、調査への参加をご案内し、49,657名の父親からの回答を得ております。この質問票調査で、父親の労働時間および精神的苦痛、および社会経済的要因などについて情報収集しており、これらの情報と精神的苦痛との関連を解析することが可能です。この質問票では他に生活習慣や社会経済的要因など多数の情報も取得済みです。本研究では、すでに取得済みのデータセットを用いて解析を行い、追加の情報収集は行いません。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2025年3月31日 【研究結果の公表の方法】 利用する情報からは、お名前、住所など、参加者さんを直接同定できる個人情報とは削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌、エコチル調査専用のホームページ、シンポジウム、広報誌、テレビ、ラジオなど様々なメディアで発表されますが、その際も参加者さんを特定できる個人情報は利用しません。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	質問票より得られた Kessler の精神的苦痛 Scale（K6）より得られた得点、父親の労働時間、年齢、BMI、最終教育レベル、世帯年収、アルコール摂取状況、喫煙状況、身体疾患既往歴、精神疾患既往歴、非社会化傾向、職種などの情報を用い、多変量解析を行います。また、他機関への情報提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	国立大学法人富山大学 学長 齊藤 滋
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	研究責任者 富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座・教授 稲寺 秀邦

研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 TEL:076-415-8846 FAX:076-415-8843 E-MAIL ecojimu@med.u-toyama.ac.jp 富山大学医学部内 エコチル調査富山ユニットセンター 土田暁子・富山大学学術研究部医学系公衆衛生学講座助教
---------------------------------	---